

“ふじのくに”士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	10	事業名	スポーツ産業振興事業費
------	----	-----	-------------

1 基本情報

実施日／班名	10月13日 第2班	時 間	15:25~16:31
担当課名	経済産業部商工振興課	事業費	5,000千円

2 判定結果

結 果		県民評価者 判定内訳(人)			
県の関与不要	判定区分	県の関与不要	16		
		県の関与必要	14	見直し・縮小	13
				現 行・拡充	1
	判定理由	結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由（人、複数回答有）			
		行政が関与する理由が不明確			13
		民間など行政以外が実施すべき			6
特定の地域に限定しているため市町が実施すべき			4		
市町でも実施できるため市町の主体性に任せるべき			4		
サービス受給者自身の自助努力に任せるべき			3		

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

【県の関与不要】

- ・スポーツ団体に任せるべき。
- ・なぜ、西部のみの組織なのか？スケールが小さい。県が関わる理由がわからない。活動内容が市町村レベルと思う。
- ・必要ないと思う。行政とやるものとは思えない。中部、東部地域はどうなるの？県が特定の地域に行うのはおかしいと思う。必要ならば政令市とかがやれば良いと思う。スポーツ産業を振興しても、リーマンショックからの不況は脱却できない、ケタが違う。会員数の充実が見込めているのか？会員の内訳はあるが収支が分からない(P91、4)。廃止すべきだと思う。目的が分からない。手弁当だと好きな人しかやらない。余裕のない人はやらない、特定の人々の為の事業だとすごく感じる。
- ・政令指定都市の浜松市がリーダーとなってやるべき。
- ・西部地域の事業なのに説明を聞いていると静岡全県の事業のように思える。活動に独自性がない。
- ・子ども中心で出来るスポーツ、イベントがあったらどうか。金よりも今後のスポーツの発展になるような事業なら。
- ・現在、多くの市町で毎年スポーツイベントが開催されている。このことを踏まえると、主体は市町で県はサポート(総括)的な役割でよいのでは？地域の活性化を図る意味では、非常に効果的な事業だと思う。費用面では、事業の目的を考えるとグループ活動事業費が事務局事業費に比べて少ないのは理解できない。

- ・何をしたいのか不明確。県や市町としてどんな成果があったか？西部だけでよいのか。なぜ、商工振興課でスポーツ振興課は入らないのか。物流との関係も含めて考えるべき。シンポジウムを開催しているが、うまく周知されていない。具体的に、今後どのようにしたいかビジョンがない。県や市町が関与する意味がない。県民へのメリットが見えない。協議会内での活動しかないのでは。
- ・スポーツ産業振興ということで非常に期待したが、内容がないので残念。金の無駄遣い。創造性がない。以前(7~8年前)にイタリアのACミラン(翌年にインテルミラノ)との提携により、小・中学生によるジュニアキャンプを開催したが、県内(エコパ、磐田など)のグラウンドを使用する際に非協力的であった。他県(例えば滋賀県)などは協力的で、1週間同じグラウンドを使用できたが、静岡の場合は日替わりでグラウンドを使用した。協議会の自立を目指すのであれば、海外クラブとの提携をするというのも一つでは？
- ・活動内容が全く見えない。どのような成功事例を目指しているのかわからない。活動内容が中途半端である。成果指標について見直す必要がある。
- ・地域が限定されすぎています。有志者でやってほしいです。関わっても市町レベルだと思います。
- ・スポーツ産業と銘打っているものの具体的に何をやるのか見えてこない。西部地域にスポーツ関連施設が集中していると言うものの、県として推進する事業としては偏りを感じる。協議会を立ち上げてということであれば、県が関与する必要はないのではないかと思います。
- ・民間でもっと活動をした方が良い。
- ・ひとまず情報を収集して、考え直す余地がありそう。補助金(賛助金)は税金(県税)なので、有効に使って欲しい。
- ・スポーツビジネスはとても難しく、ひとつのアマチュアクラブを運営することはお金がかかる。そういったことは地域の活性化を含めプロチーム等の企業を県が助ける方がいいのではないかと。県が主体となってもスポーツビジネスは成り立たないと思う。だとしたら、いろいろな遠征や合宿地を誘致するといったことだけにした方がいいと思った。
- ・スポーツを金儲けに利用する印象を持ってしまう。個別の企業が努力するべきところを、県が汗をかき必要はない。

【県の関与必要(見直し・縮小)】

- ・事業の目的は良いと思いますが、もっと具体的に対策を考えないと。
- ・県内全域でのスポーツ産業振興事業とあるが、そのビジョンがはっきりと見えてこない。将来的にという説明はあったが、具現化できるか疑問がある。シンポジウムも内容は面白そうだが、この事業につなげていくこと、協議会に加わる法人へのメリットは薄いように感じた。県民へのフィードバックがはっきりしていないと思う(一部だけでは)。北海道までの視察も、そこまでしてどれだけビジョンを持って臨んだのか、それに見合った十分な収穫があったのだろうか。本日の説明ではそこにまで至っていないように思うが。ロングスパンの計画の提示、スモールステップの目標など、見える形で進めていけると良いのでは。スポーツ振興は大切にしていきたいだけに。
- ・スポーツ産業振興のスタートなので資金が必要なことは理解できた。インフラ整備ということも分かるが、今回の予算の具体性をはっきりして欲しい。
- ・今後のスポーツ事業に期待。スポーツ大会を県民がわかるようPRを。
- ・まず、これからの県スポーツを支える人材(小、中、高)の育成にお金を使って欲しい。500万円の予算は、100万円県負担、400万円会員負担くらいがよいと思う。
- ・スポーツを産業として進めていくよりも、スポーツを健康増進課や地域医療課と関連させて考えた方がよいと思う。スポーツ産業は個々の企業で考えていけばよいと思う。県としては、施設や設備の広報活動や、利用の推進を図ればよいと思う。

- ・企業が参加しない方が良い。
- ・個人としては必要性をあまり感じませんが、今後の静岡県の必要事業として内容をもう一度見直していただきたいと思います。
- ・静岡県は東部、中部、西部があります。静岡県全体として地域産業の活性化を図るための事業として検討してほしいです。
- ・スポーツ関係の主体は今までどこがやっていたのか。国体の主体はどこ？ 縦割りで連携が取れていないのではないかと。役員給与はないと思うが民間の取りまとめ役としての働きなのか。物を作るのか、イベントをやるのか…関わり方がいまいちわからない。
- ・県が莫大な予算を費やしてまで行なわなくてはならない事業か？ スポーツは個々の楽しみでもあると思うので、個々(企業)負担でもよさそう。ただ、H23より開始されたばかりの事業なのでもう少し継続的に長い目で見たい。観光客の呼び込みやスポーツを行う人の増加等で経済効果がどれくらい得られるか?(採算は合うか?) 担当課が異なると思うが、今、行政(県でも)婚活をバックアップしているので、「スポーツ婚活」のようなものを取り入れてみては?(例:一緒にスポーツを行い、共通の趣味を持つ。スポーツ観戦ツアー(もちろん静岡県内で行われる試合!!))
- ・事業の名目は大変よいと思うが、このやり方で成果が得られるか疑問。内容の割に予算がかかりすぎ。スポーツ産業振興は良いと思う。県内全体で取り組める事業にしてほしい。
- ・何を目標にしているのかいまいち。用品を開発したりするスポーツビジネスの発展を狙っているのはわかる。ホンダやヤマハ、スズキがあるので二輪モータースポーツに力を入れてみてはいかが? 用品の開発などアフターパーツの市場開拓になる。西部でやるなら県だけでなく市町村がもっと力を入れる。磐田市も浜松市も発起人に入っていない。エコパが放置されていてもったいない。ジュビロのホームにするべき。県内に富士スピードウェイがあるのだから、モータースポーツに力を入れて欲しい。電気自動車等次世代技術にも繋がる。

【県の関与必要 (現行・拡充)】

- ・説明不足である。県は振興に助成し、手助けして行く方向で考えて欲しい。スポーツ少年団とか海外からの交流もあり、県は助成したらどうですか。子ども達のために。